年末年始の国内旅行 予約動向調査 2026-2027（調査資料）

本資料は、ベルトラ株式会社が運営する現地体験型アクティビティ専門予約サイト『ベルトラ』の予約データをもとに、2026年〜2027年の年末年始（対象期間：2026年12月25日〜2027年1月10日）の国内ツアー・アクティビティの予約動向をまとめたものです。全体の動向、日別の推移、エリア別・ツアー別のランキングを順に紹介します。

予約件数は前年同時点比+10.7%、参加人数は同+13.3%と前年を上回るペースで推移しています。最大9連休となる日並びを背景に、沖縄や屋久島などの離島、冬の京都への人気が高まっています。

※本資料の数値は、2026年11月19日までに予約された確定済みの予約を、前年同時点（2025年11月19日まで）の同期間の予約実績と比較したものです。今後の追加予約は含まれていないため、最終的な着地とは異なる場合があります。

【主なポイント】

- 予約件数は前年比+10.7%、参加人数は前年比+13.3%。参加者1人あたりの支払額は約10,200円（前年比+0.2%）で前年並み。
- 人気エリア1位は沖縄（前年比+12.3%）。北海道（+49.5%）、京都（+48.8%）も大きく伸長。
- 【トレンド①】移動も観光もおまかせのバスツアー：観光バスツアーは前年比+42.6%。美ら海水族館のバスツアーは+163.2%。
- 【トレンド②】夜まで楽しむ旅：星空・ナイトツアーなど夜の体験は前年比+79.3%。
- 【トレンド③】混雑を避ける分散旅：年末のピークは12月28日〜31日に分散。年明けは成人の日の3連休にも予約が集まる。

年末年始の国内予約件数は前年比+10.7%、参加人数は+13.3%と前年を上回るペース

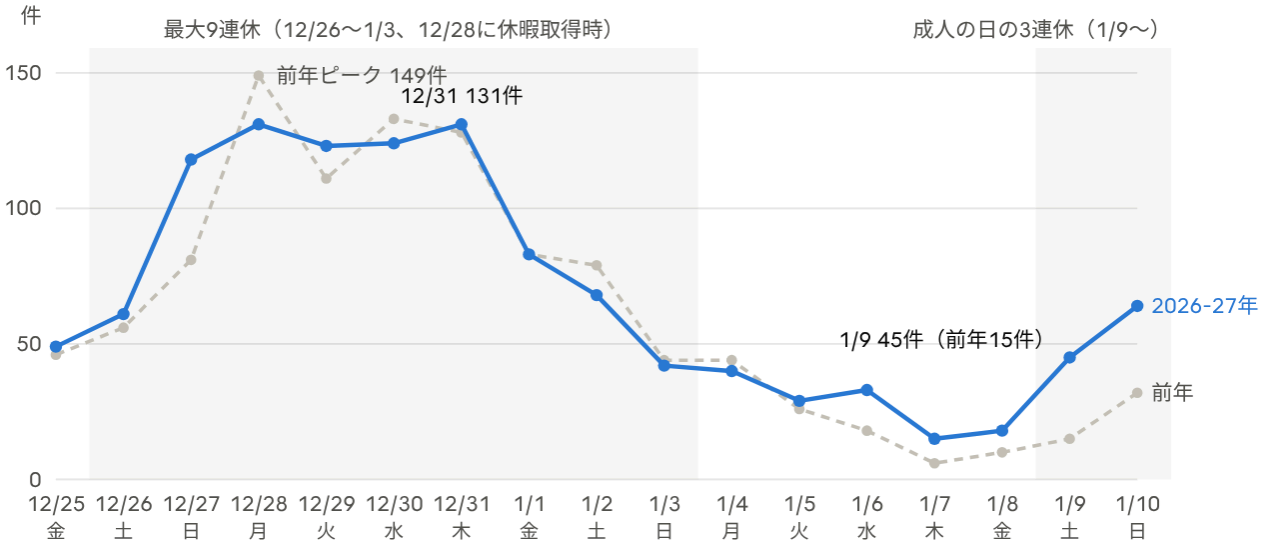
2026年11月20日時点で、年末年始（2026年12月25日〜2027年1月10日）に参加する国内ツアー・アクティビティの予約件数は、前年同時点比+10.7%となりました。

参加人数は前年同期比+13.3%と件数以上に伸び、予約1件あたりの参加人数は2.5人から2.6人に増えました。参加者1人あたりの平均支払額は約10,200円で、前年並みを維持しています。今年は12月28日（月）に1日休暇を取得すると、12月26日（土）から1月3日（日）までの最大9連休となります。この日並びも追い風となり、家族やグループで体験を楽しむ旅行者が増えているとみられます。

年末のピークが分散。成人の日の3連休にかかる1月9日・10日も伸長

年末のピークは分散し、年明けの3連休で予約が伸びる

参加日別の国内予約件数（11月20日時点） 期間合計 10.7%増



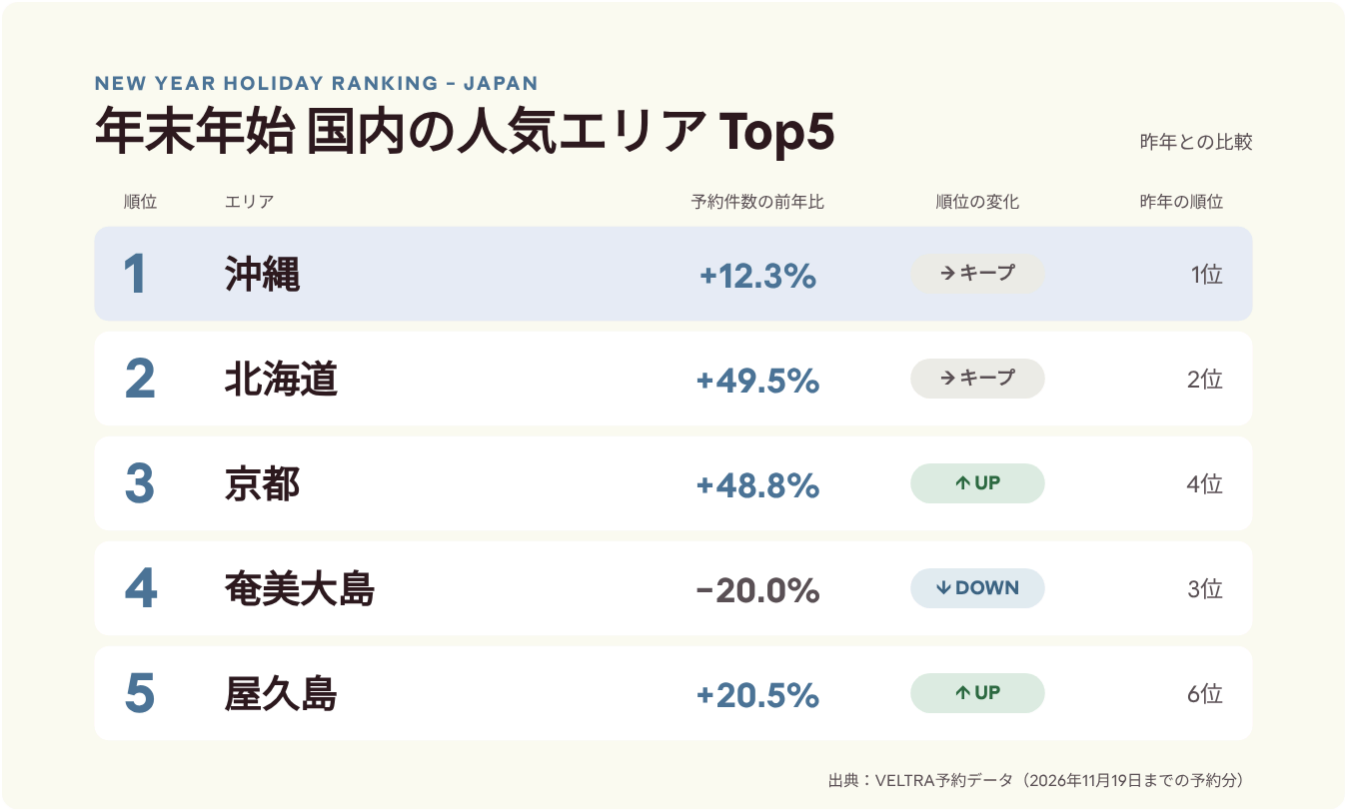
ベルトラ予約データ（BigQuery booking_records）・国内の確定予約・2026年11月19日までの予約分

昨年は12月28日（日）に予約が集中しましたが、今年は12月28日から31日の4日間に分散しています。休暇の取り方によって出発日が分かれているとみられます。

年明けは、1月9日（土）からの成人の日の3連休に予約が集まっています。仕事始めを終えた後に、混雑を避けて旅行する「ずらし旅」の選択肢として注目されそうです。

人気エリアは沖縄が不動の1位。石川、伊豆・小笠原、北海道、京都などが大きく伸長

年末年始の人気エリアトップ5では、京都が昨年の4位から3位に上がり、屋久島が東京に代わってトップ5に入りました。沖縄が全体の約6割を占め、暖かい南の島で年を越すニーズの強さが鮮明です。北海道も前年比+49.5%と伸び、「暖」と「雪」の両極が上位を占めています。



ベルトラ予約データ（BigQuery booking_records）・国内の確定予約・2026年11月19日までの予約分

伸び率では、石川（+60.0%）、伊豆・小笠原（+53.8%）、北海道（+49.5%）、京都（+48.8%）が目立ちます。連休を使って離島や自然豊かな地域、冬の古都をじっくり楽しむ旅が増えています。一方で、東京（-35.9%）や九州本土（-45.5%）は前年を下回りました。

美ら海水族館ツアーは前年比+163.2%。石垣島の「星空ツアー」も急伸

ツアー別では、都市発の観光バスツアーと、夜の自然体験が伸びています。

- **美ら海水族館をめぐるバスツアー**：主要2ツアーの予約件数は合計50件で、前年（19件）から前年比+163.2%です。
- **石垣島の星空ツアー**：主要3ツアーの合計は前年の7件から30件（前年比+328.6%）に増えました。冬でも星空を楽しめる南の島ならではの、夜の過ごし方として注目されています。
- **那覇発ホエールウォッチング**：予約件数は前年比+57.1%でした。冬から春にかけてザトウクジラが見られる、季節限定の体験です。
- **屋久島・縄文杉トレッキング**：予約件数は前年比+61.5%と伸びています。
- **北海道・旭山動物園と美瑛をめぐるバスツアー**：クリスマスツリーや青い池を一日で回れるツアーです。前年同期は予約がありませんでしたが、今年は予約数TOP10の6位に入りました。

予約数ランキングTOP10：美ら海水族館ツアーが4位・5位に、旭山動物園ツアーが6位に初登場

予約数の上位10ツアーのうち6本を、沖縄のツアーが占めました。1位は昨年と同じです。北海道の旭山動物園ツアーが2本入ったほか、美ら海水族館のバスツアー2本、屋久島の縄文杉、京都の天橋立、石垣島の星空鑑賞ツアーが、順位を上げています。

NEW YEAR HOLIDAY RANKING - JAPAN

年末年始 国内ツアー・アクティビティ TOP10

順位	ツアー・アクティビティ	前年比	昨年の順位
1	西表・由布・竹富島 日帰りツアー 沖縄（八重山）	→ キープ	1位
2	那覇発ホエールウォッチング 沖縄（本島）	↑ UP	3位
3	竹富島日帰り観光ツアー 沖縄（八重山）	↓ DOWN	2位
4	美ら海水族館観光バスツアー（古宇利島・万座毛など） 沖縄（本島）	↑ UP	18位
5	美ら海水族館バスツアー（古宇利島・今帰仁城跡） 沖縄（本島）	↑ UP	14位
6	札幌発 旭山動物園＆美瑛クリスマスツリー＆青い池 北海道	★ NEW	前年予約なし
7	縄文杉トレッキングツアー 屋久島	↑ UP	8位
8	天橋立日帰りバスツアー（伊根湾めぐり遊覧船付き） 京都	↑ UP	21位以下
9	札幌発 旭山動物園＋美瑛町青い池または白髭の滝 北海道	↑ UP	21位以下
10	星空鑑賞ツアー（美ら星マイスターの解説付き） 沖縄（石垣島）	★ NEW	前年予約なし

出典：VELTRA予約データ（2026年11月19日までの予約分）

ベルトラ予約データ（BigQuery booking_records）・国内の確定予約・2026年11月19日までの予約分

※予約件数の多い順。同数の場合は参加人数の多い順。

TOP10のうち5本は、那覇・札幌・京都から主要な観光地を1日で巡るバスツアーです。石垣島・八重山では、昼の定番の島めぐりに加えて、夜の星空ツアーを組み合わせる過ごし方が広がっています。

まとめ：数値から読み取れる3つのトレンド

予約データから、今年の年末年始には3つの傾向が読み取れます。それぞれの仮説と、補強するデータを並べます。

ツアーの分類	ツアー数	予約件数（前年）	予約件数の前年比	参加者1人あたり支払額（前年）
観光バスツアー	61本	278件（195件）	+42.6%	約8,300円（約7,600円）
星空・ナイトツアーなど夜の体験	42本	104件（58件）	+79.3%	約6,500円（約6,000円）
（参考）子ども無料・家族向けを掲げるツアー	18本	157件（90件）	+74.4%	約7,000円（約6,400円）
全体	419本	1,174件（1,061件）	+10.7%	約10,200円（約10,200円）

※ツアー名に「バスツアー」「観光バス」、「星空」「ナイト」「夜」など、「○歳以下無料」「家族」を含むツアーをそれぞれ集計。ツアー数は2026年に予約のあったツアーの本数。

トレンド①　移動も観光もおまかせのバスツアー

仮説： 運転や移動の手配をせずに、限られた滞在時間で名所を効率よく巡れるバスツアーが支持されている。全体より手頃な価格で、物価高のなかでも定番の観光地を押さえたいというニーズも一因とみられる。

- 観光バスツアーの予約件数は前年比+42.6%。それ以外のツアーは+3.5%にとどまる
- 予約全体に占めるバスツアーの割合は18.4%から23.7%に上昇
- TOP10のうち5本（4・5位の美ら海水族館、6・9位の旭山動物園、8位の天橋立）がバスツアー
- 参加者1人あたりの支払額は約8,300円で、全体（約10,200円）より手頃

参考として、子ども無料・家族向けを掲げるツアーも前年比+74.4%と伸びています。美ら海水族館のバスツアーのように、幼児が無料になるプランのあるツアーが多く含まれます。

トレンド②　夜まで楽しむ旅

仮説： 日の短い冬でも、昼の観光に夜の体験を組み合わせて、滞在全体の満足度を高める過ごし方が広がっている。

- 星空・ナイトツアーなど夜の体験は前年比+79.3%。それ以外のツアーは+6.7%
- 石垣島の星空鑑賞ツアーがTOP10（10位）入り。やんばる（沖縄本島）の星空観望や奄美大島のナイトツアーにも予約が入っている
- 石垣島・八重山では、定番の昼の島めぐり（TOP10の1位・3位）が前年より減る一方で、夜のツアーが伸びている

トレンド③　混雑を避ける分散旅

仮説： 最大9連休の日並びを生かし、休暇の取り方や出発日をそれぞれに選ぶ動きが広がっている。混雑や価格の高い日を避ける「ずらし旅」も一因と考えられる。

- 前年のピークは12月28日の149件。今年は12月28日〜31日がいずれも123〜131件で、突出した日がない
- 1月9日・10日は合計109件で、前年同日（47件）を大きく上回る。ただし曜日のずれ（前年の1月9日は金曜日）の影響も大きい

調査概要

- 対象：『ベルトラ』日本語サイトで予約された国内のツアー・アクティビティ（確定済みの予約）
- 対象期間（参加日）：2026年12月25日〜2027年1月10日、前年は2025年12月25日〜2026年1月10日
- 集計時点：2026年11月19日までの予約分（前年は2025年11月19日までの予約分）
- 参加者1人あたりの支払額：ツアー・アクティビティの代金を参加人数で割って算出

ベルトラについて

ベルトラは旅行会社の枠組みを超え、国内から海外、旅行前から旅行後、オンラインからオフラインまで、「心ゆさぶる体験」に出会うためのソリューションを提供します。

現地ツアー数：約25,000ツアー / 現地ツアー催行会社数（世界）：約9,000社 / 取り扱い国数：150カ国 / 会員：約285万人 / 参加体験談：約620,000件

URL：https://www.veltra.com/jp/

■本資料に関するお問合せ先：pr.jp@veltra.com